


R2	2021.03.17	 宮崎国際大学 Miyazaki International College
	卒業時満足度調査（令和2年度） 集計結果と報告（国際教養学部・教育学部）	

令和2年度卒業時満足度調査の結果を報告します。卒業生の76%から回答が得られました。

1. アンケートの実施

実施時期	令和3年1月末から3月12日
対象者	令和2年度卒業生90名【内訳】国際教養学部51名 教育学部39名
回答者	78名（回答率87%）【内訳】国際教養学部42名（82%）教育学部36名（92%）

アンケートの内容	
	下記の6つの質問項目で、用紙およびインターネットでアンケートを実施した。 質問1~4については、学生は、評点5（大変満足している）、評点4（満足している）、評点3（どちらとも言えない）、評点2（満足していない）、評点1（まったく満足していない）の5段階で評価を行った。
質問1	「本学の教育について、満足していますか。」
質問2	「学友との出会いに満足していますか。」
質問3	「学習に関わる施設、設備、備品は十分でしたか。」
質問4	「就職活動・教員採用試験等への支援は十分でしたか。」
質問5	「以下の用語はディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）に掲げられている素養です。本学で身についたと感じるものを選んでください。（複数回答）」 1 理論的な思考力 2 コミュニケーション力 3 物事を多角的・多面的に考える視野 4 教養・知識 5 専門的な知識と技術 6 考え方の柔軟性 7 多文化・異文化理解 8 自ら課題を立てて、解決する力 9 その他
質問6	その他、本学に特に満足したことや要望等があれば、ご記入ください。

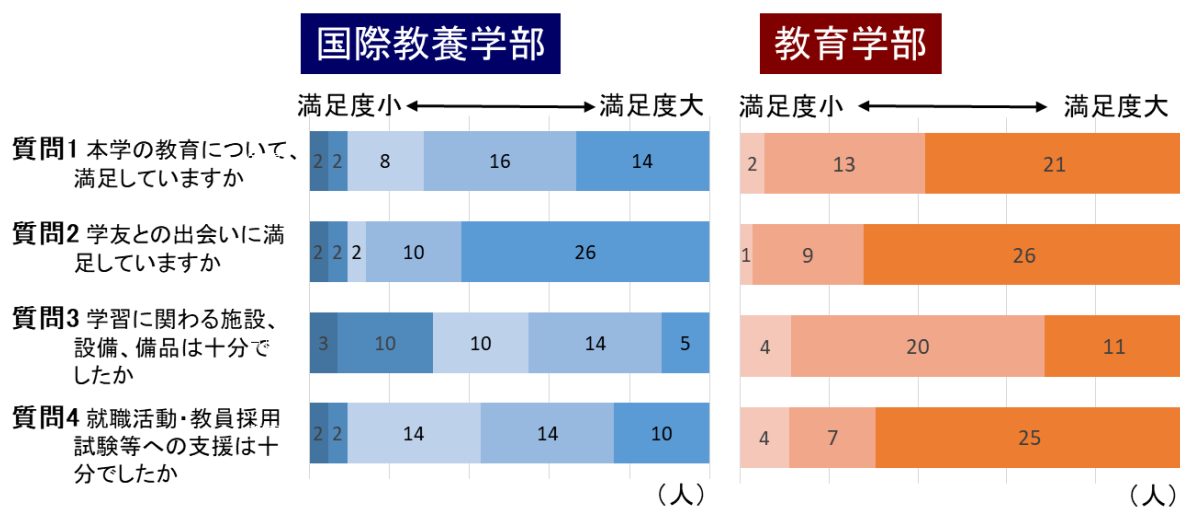
2. 集計結果

2.1 質問1~4の解析

回答	学部	評価点分布						平均値	全体
		1	2	3	4	5			
質問1 本学の教育について、満足していますか。	国際教養学部	2	2	8	16	14	3.90	4.19	
	教育学部	0	0	2	13	21	4.53		
質問2 学友との出会いに満足していますか。	国際教養学部	2	2	2	10	26	4.33	4.50	
	教育学部	0	0	1	9	26	4.69		
質問3 学習に関わる施設、設備、備品は十分でしたか。	国際教養学部	3	10	10	14	5	3.19	3.67	
	教育学部	0	0	4	20	12	4.22		
質問4 就職活動・教員採用試験等への支援は十分でしたか	国際教養学部	2	2	14	14	10	3.67	4.09	
	教育学部	0	0	4	7	25	4.56		

各質問への回答の分析結果を示す。

- ・ 質問 1 は、本学教育の総合的な評価であり、全学平均で 4.19 の高い評価を示している。大変満足している（評価 5）と満足している（評価 4）を合わせて、82.1%（64 名）となっている。
- ・ 質問 2 の学友関係についても、全学平均で 4.50 の高い評価を示している。
- ・ 質問 3 「施設・設備」の評価は、全学平均 3.67 であり、2018 年の 3.15、2019 年の 3.54 に比べて増加しており、年々改善されてきていることが分かる。
- ・ 質問 4 の「就職活動・教員採用試験等への支援」は、教育学部で 4.56、国際教養学部で 3.67 であり、教育学部の方が高い評価となっている。教育学部での教員採用試験の支援が評価されているものと思われる。一方、国際教養学部の就職支援の評価は、評点 3 と評点 4 が多く、評点 5 が少ない（下記分布を参照）。改善が必要である。



- ・ 全学平均値を 2018 年度、2019 年度と比較を行った。質問 1～4 の平均値は、昨年、一昨年度よりも高い満足度となっている。特に、設備面（質問 3）は 2018 年度に比べてかなり改善されている。

回答	年度	評価点分布（国際教養学部、教育学部）					平均値
		1	2	3	4	5	
質問 1	2018 年度	0	6	8	37	26	4.08
	2019 年度	1	2	9	46	22	4.08
	2020 年度	2	2	10	29	35	4.19
質問 2	2018 年度	0	8	6	15	49	4.35
	2019 年度	1	1	7	21	50	4.48
	2020 年度	2	2	3	19	52	4.50
質問 3	2018 年度	3	18	26	26	5	3.15
	2019 年度	4	8	22	33	13	3.54
	2020 年度	3	10	14	34	17	3.67
質問 4	2018 年度	2	5	17	21	33	4.00
	2019 年度	3	4	18	32	23	3.85
	2020 年度	2	2	18	21	35	4.56

2.2 質問5の解析

質問5 以下の用語はディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）に掲げられている素養です。本学で身についたと感じるものを選んでください（複数回答）

1 理論的な思考力、2 コミュニケーション力、3 物事を多角的・多面的に考える視野
 4 教養・知識、5 専門的な知識と技術、6 考え方の柔軟性、7 多文化・異文化理解
 8 自ら課題を立てて、解決する力、9 その他

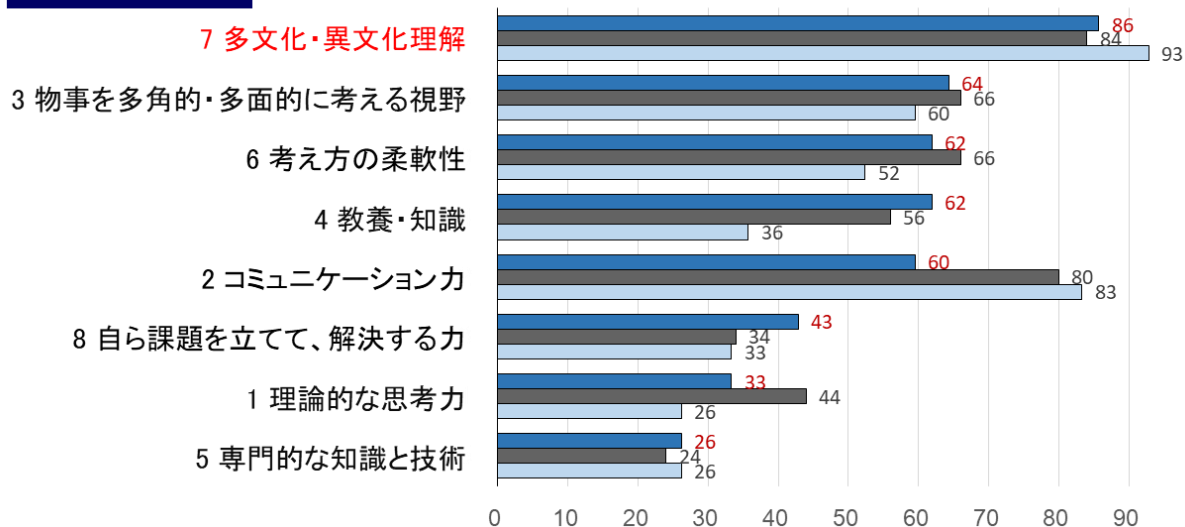
回答	選択項目	割合 (%)							
		1	2	3	4	5	6	7	8
国際教養学部	2018年度	26	83	60	36	26	52	93	33
	2019年度	44	80	66	56	24	66	84	34
	2020年度	33	60	64	62	26	62	86	43
教育学部	2018年度	44	58	75	58	56	64	36	56
	2019年度	17	70	57	50	57	50	10	30
	2020年度	42	72	47	78	67	47	22	56

下記グラフにおいて、本年度（2020年度）の結果を2018年度、2019年度と比較して百分率で表す。

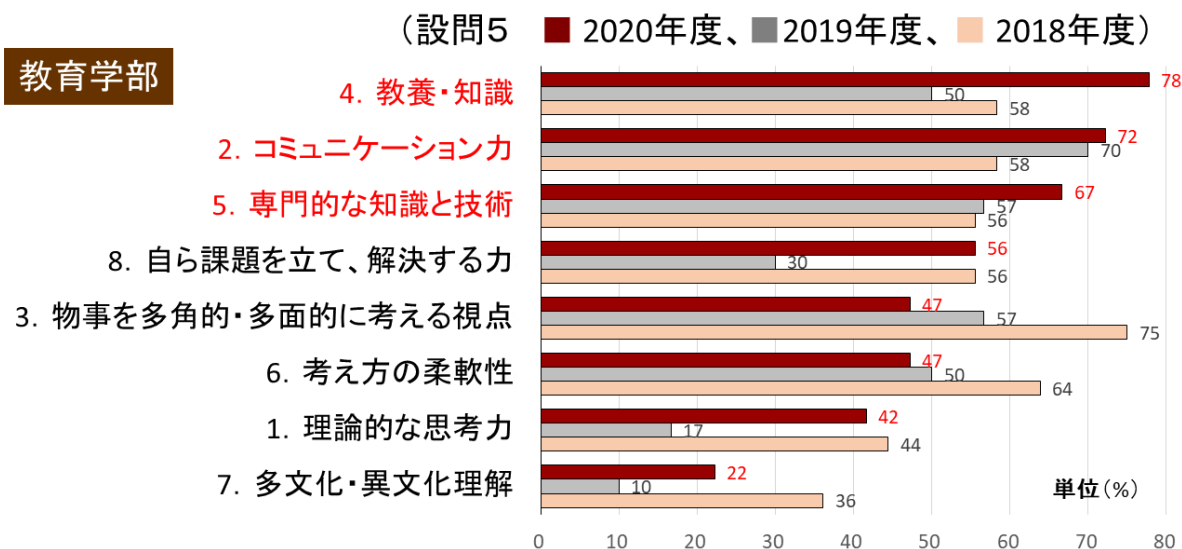
- ・ 国際教養学部では、「7 多文化・異文化理解」が86%の学生が一番身についたと答えており、次に「3 物事を多角的・多面的に考える視野（64%）」「4 教養・知識（62%）」「6 考え方の柔軟性（62%）」が続いている。
- ・ 一方で、「5 専門的な知識と技術」「1 理論的な思考力」「8 自ら課題を立てて、解決する力」がそれぞれ26%、33%、43%と低くなっている。
- ・ 今年度の結果を2018 および2019年度と比較すると、「2 コミュニケーション力」が2018年度（80%）および2019年度（83%）と比較して、20ポイント以上減少している。対面授業が少なかったことが原因の一つに考えられる。

国際教養学部

設問5(■2020年度、■2019年度、■2018年度) 単位%



- ・ 教育学部では、「4. 教養・知識 (78%)」「2. コミュニケーション力 (72%)」、「5. 専門的な知識と技術が一番身についた (67%)」を 67%以上の学生が選んでいる。「4. 教養・知識 (78%)」が 2019 年度の 50%および 2018 年度の 58%と比べて、大幅に 20 ポイント以上増加している。
- ・ 一方で、「7 多文化・異文化理解」「1 理論的な思考力」がそれぞれ 10%、17%と低くなっている。
- ・ 2018 年度の結果と比較すると、年々、「物事を多角的・多面的に考える視野」および「6 考え方の柔軟性」が減少し、「4. 教養・知識」「2. コミュニケーション力」、「5. 専門的な知識と技術が一番身についた」が年々、増加している。



2.3 質問6の回答 (主な意見)

国際教養学部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教授の方々の熱心な授業や幅広い視野を持たれた感性に触れることができ貴重な4年間を過ごすことができました。 ・ 海外研修は選択肢が幅広くあり良いと思います。国に関わらず、期間を選択できるのは経済や時間に悩む生徒に有効だと思いました。また、心理学や経済学など、多数の分野を1度に学べるので、物事を多角的に考えることができる点において他の大学にはないMICの魅力だと感じます。 ・ Study abroad program 海外研修 ・ 先生方によって教え方も違ったのでそれも面白かった ・ 思考力が豊かになった気がします。授業が楽しかったです。もっと自分の専攻を深く勉強したかったです。 ・ 宮崎国際大学に入学できて、先生方に会えて、大切な友人たちに出会えて本当によかったです。留学経験もかけがえのない財産になりました。4年間お世話になりました。 ・ 先生方との出会いから多くの刺激をもらったこと。先生方からの支援が手厚かったこと。
教育学部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に、教員採用試験の対策はとても充実したものでした。知識的なことから、模擬授業の指導まで、幅広く指導していただいたことで、力をつけることができました。

- ・ 教員採用試験への手厚いサポートがとても助かりました。先生方のおかげで合格することができました。本当にありがとうございました。
- ・ 教員採用試験の対策講座がとても手厚かったことに、非常に感謝しています。学内の先生方に加え、学外の先生方からも長い間ご指導いただいたことにより、合格できたと実感しています。大学に迷っている教員志望の高校生がいるのなら、自信をもって宮崎国際大学を薦めることができます。ありがとうございました。
- ・ 先生方との密なかかわりは大変貴重な経験でした。教えていただいたことを生かして社会で活躍していけたらと思います。
- ・ 友達や先生方に相談しやすい環境で居心地が良かった。
- ・ 1号館1階のパソコンの台数をもう少し増やしていただけると良いと思います。
- ・ 空きコマにピアノ練習の出来る場所があることが大変助かりました。
- ・ 一般教養の科目をさらに広く学びたい。
- ・ 私は本学に入学した理由は、2つありました。1つめは、他大学の試験に落ちて進路に悩んでいた際、高校の担任の先生からの勧めで「宮崎国際大学はなんといっても人間性が育ちますよ。」と言われ、そこで私も人間性を高めたい成長させたいという大きな気持ちも芽生え、本学を選んだうちの1つです。

2つめは、教員になる夢を叶えるためです。私は県内の大学で進学したい、そして教員の夢を叶えたいと思っていました。実際に入学してみて、先生方のバックアップがこんなにも凄く、私たちの夢を真剣に応援して下さる先生方がいらっしゃって、本学に入学して間違いなかったと心の底から思いました。それが今では、とても大きな支えにつながっています。また、本学で力を入れてくださった教員採用試験特別対策講座では、私の生きる力を見つけることができました。試験の約半年前から対策をして下さり、正直精神的に辛い時期もありくじけそうになった時もありました。そして休みたい気持ちもありました。ここまで私たちのために沢山の資料を準備して下さったり、厳しく指導して下さる先生方の表情から私たちよりも必死さが伝わってきました。ここで自分が挫折しては先生方にも、そしてここまで応援して下さっている親にも申し訳ないと思い、弱音を捨て必死に対策講座には1回も休むことなく出席しました。今では、あ那时的先生方の厳しさは愛情に変わるものだと実感し、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。